



# 国束山 標高 411m

Mt. Kuzukasan

日本を束ね、国家安穩を祈念するため  
聖徳太子が開山されたと伝わる山

かつては伊勢の名刹として栄え、戦後に山頂から現在地に移築された「国束寺(くづかじ)」。神話の世界そのままにひっそりと佇む境内は心身ともに癒されるパワースポットだ。登山コースは国束寺からと、日帰り温泉のある玉城町からの参詣道など数本がよく利用されている。境内の十月桜は10月~11月に開花し翌年4月にも花を咲かせることで知られ、鐘楼は誰もが自由に鐘をつくことができる。



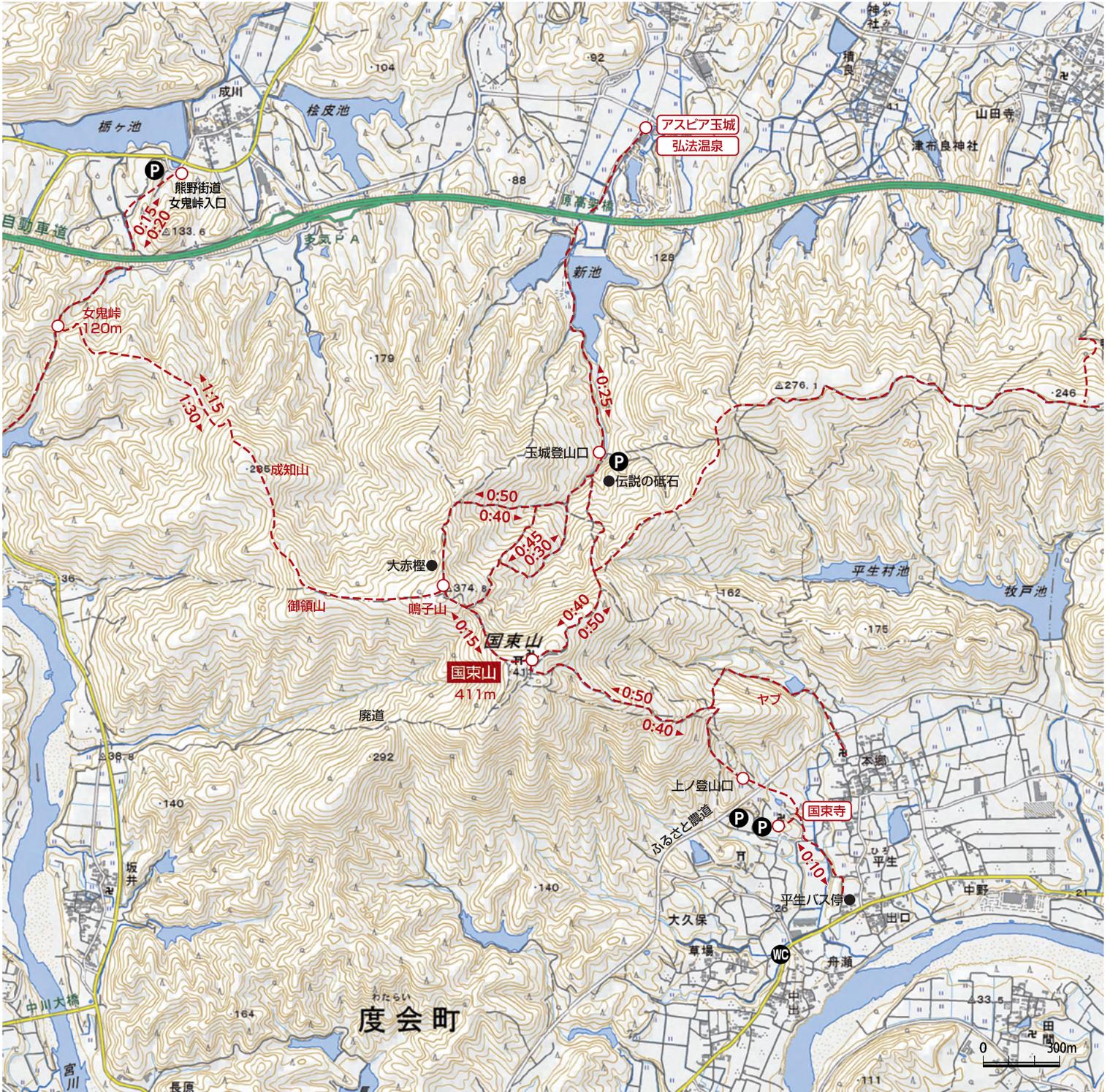
国束山(国束寺前より)



登山道脇のお地藏様



十月桜



# 牛草山 標高 550m

Mt. Ushikusayama

海を眺めるダイナミックな風景がステキな山

黒潮踊る熊野灘を俯瞰する素晴らしい景色で知られる牛草山。度会町側に3コースが新設され周回コースで登山が楽しめるようになった。牛見平から「らくだ山」～「牛草山」と反時計回りに歩き、西尾根を下って天然記念物の「火打石」(写真中央)に立ち寄る周回コースがオススメ。健脚者は牛草辻から山ノ神まで足を伸ばして日向コースや火打石コースを下山するのもいい。



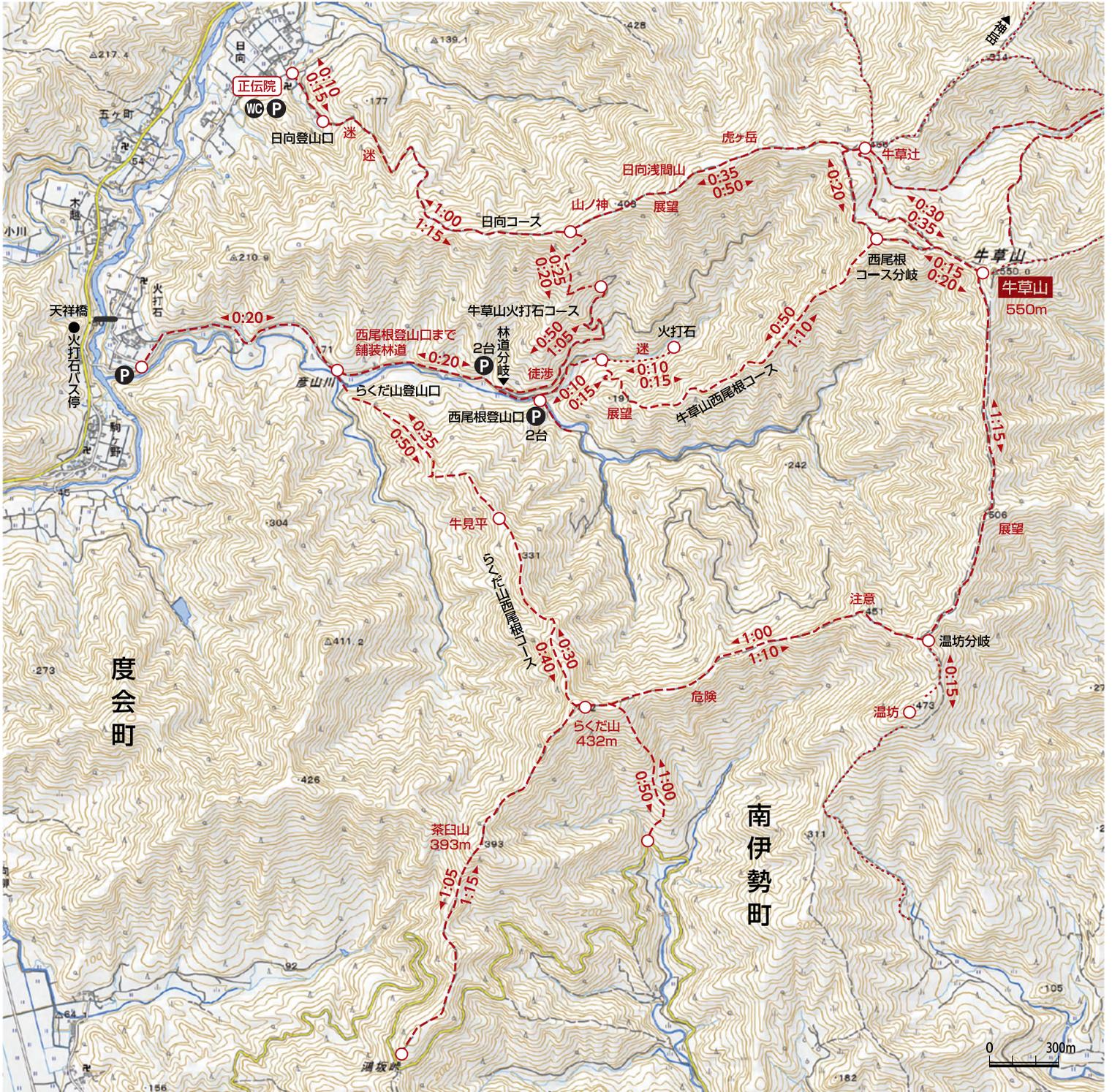
牛草山



天然記念物 火打石



牛草山からの展望



# 神岳 標高 492m

Mt. Kamigatake

山懐に神聖な伊勢神宮の御萱場を抱える山

1300年以上の長きにわたり20年毎に繰り返されてきた伊勢神宮の式年遷宮。ここには遷宮の度に建て替えられる新しい社殿の屋根を葺く「かや」を育てる御萱場(神宮の領地:立入り禁止)のある山として知られる。

夕日が御萱場を黄金色に染める秋は特に美しい。

東側の南伊勢町から登る登山道は廃道化がすすみ、道迷いなど注意が必要だ。



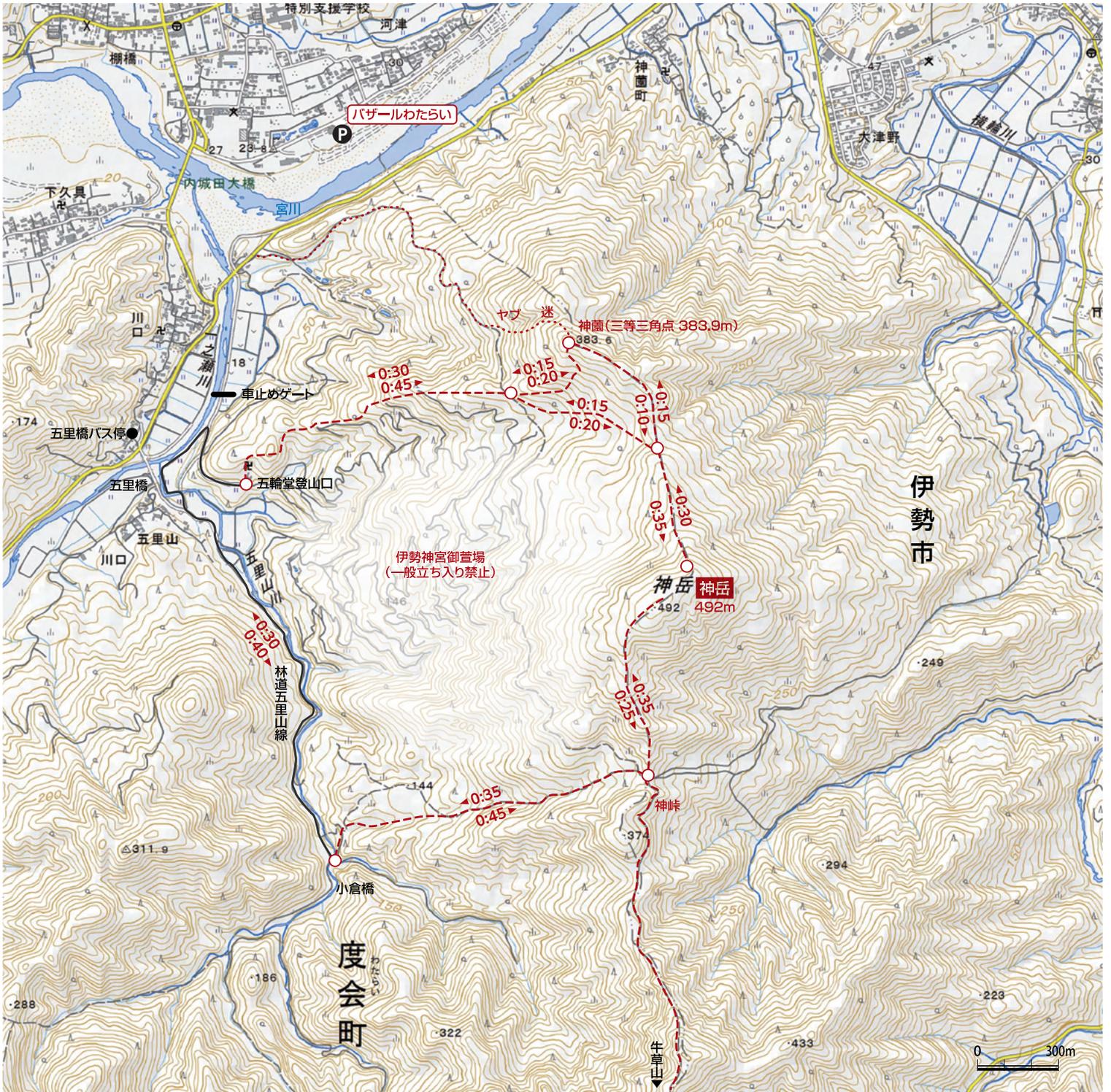
三角点峰(左) 神岳(右)



五輪堂登山口



神宮御萱場





# 釈迦岳

Mt. Shakadake

標高 784m

度会山地 (度会町) の最高峰

# 倭ノ姫山

Mt. Yamatonohimeyama

標高 706m

二千年前の倭姫伝説の  
神水が湧き出る山

釈迦岳は、度会町・南伊勢町・大紀町にまたがる度会山地の最高峰だ。山頂の西の“のぞき岩”からは太平洋の大海原が眺められる。

神水「川上の清水」が湧き出る「倭ノ姫山」。

古事記や日本書紀にも登場する倭姫命（ヤマトヒメノミコト / ヤマトタケルの叔母）が天皇の命により天照大神が鎮座するにふさわしい土地（現在の伊勢神宮）を探し求める長い旅の途中、ここに立ち寄り清水でノドを潤したという伝説を今に残す。



釈迦岳



倭ノ姫山



川上の清水(神水)

